



AKITA

〔12月〕

県内経済

概況

県内経済は、全体として持ち直しの動きが足踏みしている

木材の生産は堅調に推移しているが、電子部品、機械金属は弱い動きとなっている。建設は、公共工事が増加基調で推移しているが、住宅着工は駆け込み需要の反動などで前年割れが続いている。個人消費は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用情勢は一部で改善の動きが弱まりつつあるが、高水準を維持している。

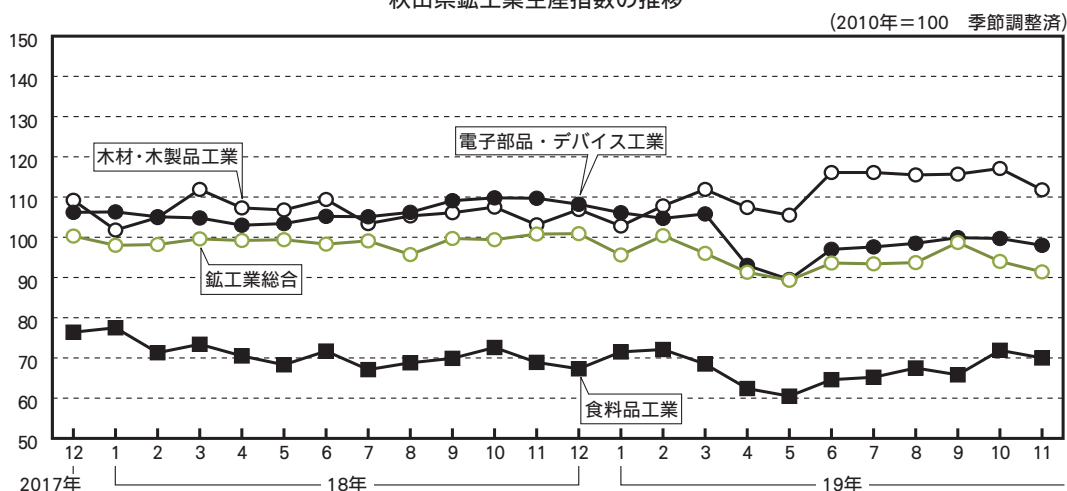
産業別の動向では、電子部品の生産額は、車載向けが世界的な自動車生産台数の減少から大幅に落ち込み、7か月連続で前年を下回った。機械金属の生産額は、輸送機械で海外向け、国内向けともに不振が続いており、5か月連続で前年を下回った。木材は、製材品の生産量が11か月連続で前年を上回り、増加傾向を保っている。公共工事請負額は、6か月ぶりに前年を下回ったが、年度累計では前年を上回って推移している。地元大手(12社)の建設受注額は、官公庁工事、民間工事ともに振るわず、6か月ぶりに前年を下回った。住宅着工は消費税率

引上げ前の駆け込み需要の反動などで、6か月連続で前年を下回った。個人消費は、小売店販売額(11月)、新車乗用車販売台数がともに前年を下回り、全体として持ち直しの動きが足踏みしている。

有効求人倍率は前月比0.05ポイント上昇し1.50倍となった。新規求人数は前年比2.4%減となり、8か月連続で減少した。事業主都合離職者数は12.5%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

企業倒産件数は2件、負債総額は1億円であった。倒産件数は2012年11月以降、一桁台またはゼロ件で推移している。

秋田県鉱工業生産指数の推移



資料：秋田県企画振興部調査統計課「秋田県鉱工業生産指数月報」

## 電子部品

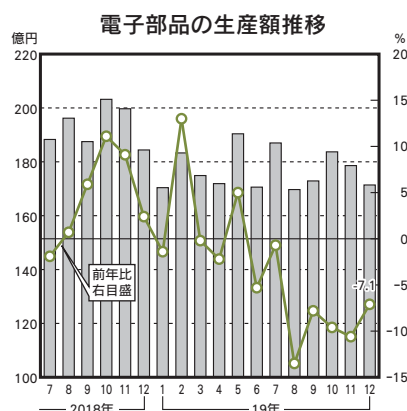
### 生産額、7か月連続で前年比減少

12月の生産額は前年比7.1%減と7か月連続で前年実績を下回った。

低迷が続いていたスマートフォン向けは回復の兆しがみられるものの、車載向けは世界的な自動車生産台数の減少を受け、落ち込みが続いている。

その他品目別では、主力のセラミック・コンデンサやコイルに加え、半導体素子、産業向け液晶パネルも減少が続いている。

なお、10-12月期は前年同期比9.1%、2019年通期では同3.7%、それぞれ減少した。



(当研究所調べ、県内4社)

## 機械金属

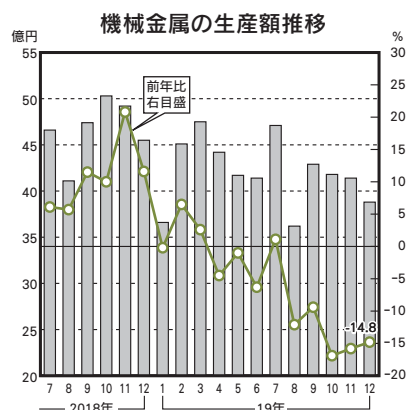
### 生産額、減少続く

12月の生産額は前年比14.8%減と5か月連続で前年実績を下回り、前月対比でも3か月連続で減少した。

ウエイトの高い輸送機械において、海外向け、国内向けとも不振が続いており、減少幅が大きくなっている。

その他の民需関連では、製鋼品は好調を維持しており、建機部品も堅調に推移している。金型は一進一退の動きが続いている。公共工事関連では、橋梁・鉄骨が下げ止まり傾向にあるものの、水道部品は減少に歯止めがかかっていない。

なお、10-12月期は前年同期比15.9%、2019年通期では同6.2%、それぞれ減少した。



(当研究所調べ、県内8社)

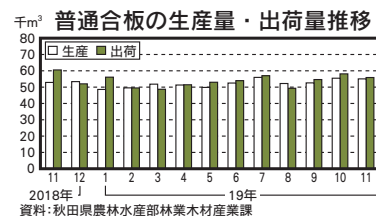
## 木材業

### 製材品の堅調推移続く

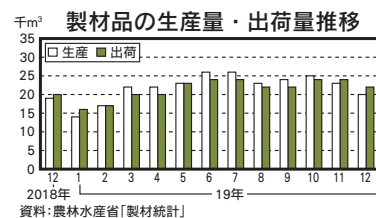
全国的には、新設住宅着工戸数の減少傾向が続く中、非住宅需要や台風等災害復旧需要も加わり、普通合板が生産、出荷とも堅調の一方、製材品は前年実績を下回る推移が続いているが、県内では製材品も引き続き堅調を持続している。

11月の普通合板は、生産量が前年比4.1%増と増加したが、出荷量は前年の大型案件受注による大幅増の反動もあり、同7.7%減と2か月連続で前年を下回った。在庫量は前年比31.8%減と7か月連続で前年を下回った。

12月の製材品は、生産量が前年比5.3%増、出荷量は同10.0%増と、伸び率は鈍化したが依然増加基調を保っている。



資料：秋田県農林水産部林業木材産業課



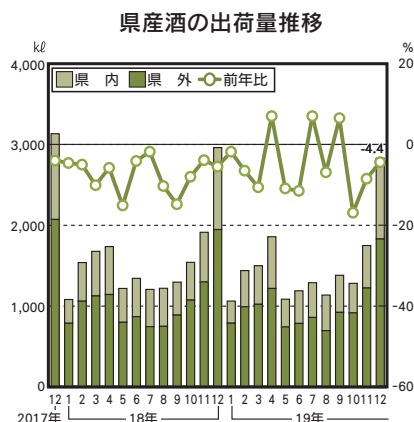
資料：農林水産省「製材統計」

## 酒造業

### 出荷量、前年比減少幅は縮小傾向

12月の清酒出荷量は、前年比4.4%減と3か月連続で前年を下回ったが、消費税率引上げの影響が和らぎ、前年比減少幅は縮小が続いている。出荷先別では、県内向けが同1.3%減、県外向けも同6.0%減となった。県外の主な出荷先別では、北海道が同2.2%減、東京は同5.6%減、東北5県も同7.7%減と、いずれも振るわなかった。種類別では、普通酒は同5.7%減、特定名称酒も同2.7%減と、ともに減少した。

2019年の年間清酒出荷量は、前年比5.0%減となった。特定名称酒は同0.03%増と僅かながらも9年連続で前年を上回ったが、普通酒が同9.0%減と落ち込んだことが響いた。



資料：秋田県酒造組合

## 建設業

### 公共工事 県、市町村等が減少し、6か月ぶりに前年比減少

12月の公共工事請負金額は、国が増加したものの、県、市町村等が減少し、前年比6.1%減と6か月ぶりに前年を下回った。ただし、年度累計では前年同期比10.7%増と二桁の伸び率を維持している。

一方、当研究所調査による地元大手12社の12月の新規受注額も、前年比82.5%減の257百万円と6か月ぶりに前年を下回った。うち官公庁工事は同94.1%減、民間工事も同67.1%減と、いずれも土木、建築とも振るわず大きく落ち込んだ。ただし、年度累計の受注実績では前年同期比25.1%増と、依然高い伸び率を維持している。

#### 公共工事前払金保証実績

(単位: 件、百万円、%)

区分	12月	前年比	4月~12月	前年同期比
件数	74	△28.8	2,357	△3.3
請負金額	4,626	△6.1	142,463	10.7

資料：東日本建設業保証㈱秋田支店

#### 地元大手企業12社受注額

(単位: 百万円、%)

区分	12月	前年比	4月~12月	前年同期比
官公庁	49	△94.1	17,369	24.1
民間	208	△67.1	8,077	27.2
合計	257	△82.5	25,446	25.1

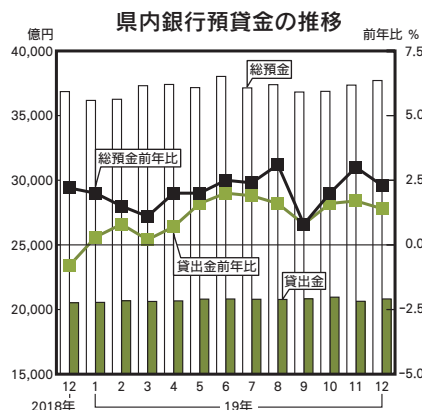
(当研究所調べ、県内12社)

## 金融

### 預金、貸出金とも前年比増加率が鈍化

12月末の県内銀行の預金は、前月末比355億円増加し、前年比でも2.3%の増加となった。貸出金は、前月末比181億円増加し、前年比でも1.4%の増加となった。預金、貸出金とも前年比増加が続いているが伸び率は前月と比べ鈍化した。

12月の倒産件数(負債総額1千万円以上)は2件(前年比1件増)、負債総額は1億円(同53.8%増)となった。倒産件数は2012年11月以降86か月連続で一桁台または0件で推移している。2019年の年間倒産件数は39件(前年比9件減)で、1971年の集計開始以来最少となった。負債総額は65億6,500万円(同34.9%減)となった。



資料：秋田県銀行協会

## 住宅着工

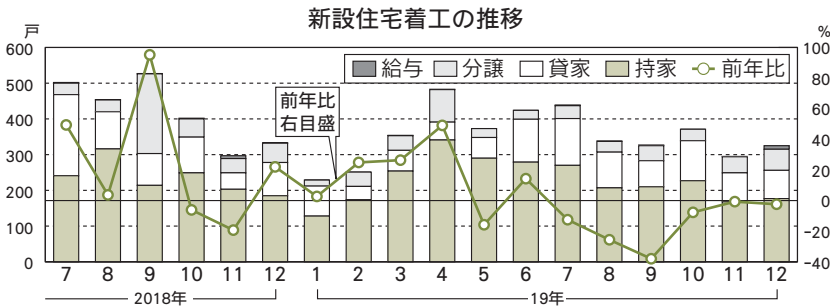
減少傾向が続く

12月の県内新設住宅着工戸数は、325戸（前年比8戸減、2.4%減）であった。給与住宅と分譲住宅は増加したものの、主力である持家が減少したほか、貸家も減少し、6か月連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家が177戸（前年比8戸減）、貸家が79戸（同14戸減）、分譲住宅が59戸（同5戸増）、給与住宅が10戸（同9戸増）となっている。

2019年通年の県内新設住宅着工戸数は4,209戸（前年比148戸減、3.4%減）となり、2年ぶりに前年を下回った。

利用関係別では、持家（2,725戸）は、消費税率引上げ前の駆け込み需要もあり、2年連続で前年を上回った。貸家（983戸）は、3年連続で前年を下回った。分譲住宅（483戸）も、前年にマンション着工があった反動から、4年ぶりに前年を下回った。



資料：秋田県建築住宅課

住宅着工動向 (単位：戸、%)

区分	2019年12月	前年比	19年1~12月	前年比
県北	57	△28.8	874	2.3
県央	180	△6.3	2,220	△13.6
県南	88	44.3	1,115	19.5
合計	325	△2.4	4,209	△3.4

資料：秋田県建築住宅課

## 個人消費

持ち直しの動きが足踏みしている

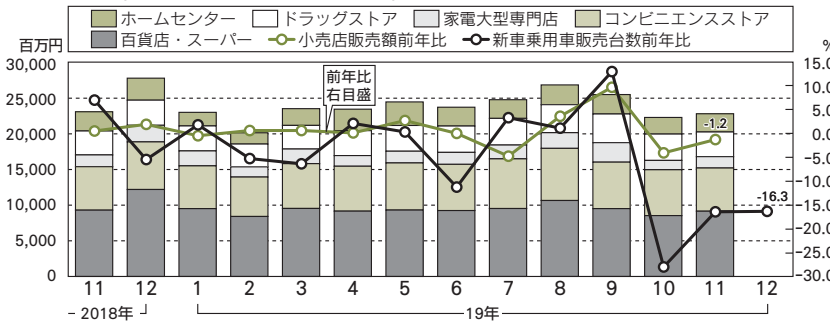
11月の小売店（商業動態統計主要6業態）販売額は、合計で前年比1.2%減となり、2か月連続で前年を下回った。ドラッグストア（同3.1%増）で増加したものの、ホームセンター（同5.2%減）、家電大型専門店（同3.5%減）、コンビニエンスストア（同0.6%減）などで減少した。

百貨店・スーパー販売額は、前年比1.6%

減となった。衣料品は紳士服を中心に動きがみられ、2か月ぶりに前年を上回った。飲食料品は全体的に振るわず、7か月連続で前年を下回った。

12月の新車乗用車販売台数は、前年比16.3%減の2,130台となった。登録車、軽乗用車ともに減少し、3か月連続で前年を下回った。

小売店（商業動態統計主要6業態）販売額・新車乗用車販売台数の推移



資料：経済産業省、秋田県自動車販売店協会

12月の新車乗用車販売台数 (単位：台、%)

区分	販売台数	前年比
新車乗用車総販売台数	2,130	△16.3
登録車	1,322	△11.2
普通車	548	△0.2
小型車	683	△17.2
輸入車	91	△20.2
軽乗用車	808	△23.6

資料：秋田県自動車販売店協会

県内個人消費関連指標（前年比）(単位：%)

区分	9月	10月	11月
①消費者物価指数	△0.1	0.2	0.7
②勤労者名目賃金	△3.7	△3.1	△4.0

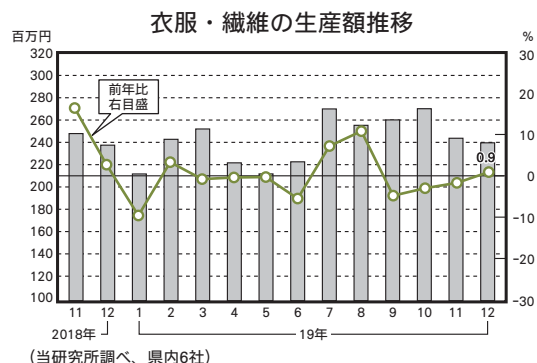
資料：①秋田県（総合指数、秋田市）  
②秋田県（事業所規模5人以上）

## 衣服・繊維

### 生産額、4か月ぶりに前年比増加

12月の生産額は、前年比0.9%増となった。春物への切り替えが進むなか、一部紳士服を中心に増加し、4か月ぶりに前年を上回った。

受注は、消費税率引上げ後の販売状況から慎重な姿勢がみられ、4か月連続で前年を下回った。



## 雇用

### 有効求人倍率は1.50倍、高水準続く

12月の有効求人倍率は、前月を0.05ポイント上回る1.50倍となり、7か月ぶりに1.5倍台となった。常用の内訳では、一般は前月比0.07ポイント上昇の1.46倍、パートは同0.03ポイント上昇の1.51倍となった。

新規求人数は前年比2.4%減となり、8か月連続で前年を下回った。産業別にみると、製造業は同5.3%減となった。「情報通信機械」、「木材・木製品」などで増加したものの、「電子部品・デバイス・電子回路」、「食料品」で二桁の減少率となったほか、「繊維」でも減少した。非製造業は同2.1%減となった。「生活関連サービス、娯楽」、

「医療、福祉」、「建設」、「情報通信」で増加したものの、「サービス」、「宿泊、飲食サービス」、「卸売、小売」で二桁の減少率となった。

新規求職者数は前年比5.3%減と、3か月連続で前年を下回った。

事業主都合離職者数は、前年比12.5%増となり、2か月ぶりに前年を上回った。

地域別雇用状況（パートを含む常用）をみると、新規求人数は県北、県南で減少したものの、県央で大きく増加した。有効求人倍率は県北が最も高く1.72倍、県南が1.46倍、県央が1.39倍となった。

#### 業種別・新規求人内訳および新規求職者数（全数）

区 分		2019年11月		12月	
		前年比		前年比	
新規求人計		7,781	△14.7	8,338	△2.4
製造業		748	△20.1	794	△5.3
主要業種の内訳	食料品	126	△13.1	104	△14.8
	繊維	145	△17.1	164	△3.0
	木材・木製品	31	△13.9	50	138.1
	電子部品・デバイス・電子回路	76	△26.9	77	△36.9
	電気機械器具	48	△53.8	48	17.1
	情報通信機械	24	200.0	5	150.0
	非製造業	7,033	△14.0	7,544	△2.1
	建設	892	9.6	1,025	5.5
	情報通信	31	△55.1	55	3.8
	運輸、郵便	379	△15.6	301	△6.2
卸売、小売	1,236	△19.8	1,108	△11.8	
宿泊、飲食サービス	1,016	△11.3	977	△12.5	
生活関連サービス、娯楽	271	△28.9	398	15.4	
医療、福祉	1,528	△15.7	1,804	7.1	
サービス	737	△30.7	790	△26.4	
新規求職者数		3,687	△6.4	3,528	△5.3
有効求職者数		15,232	△1.4	14,702	△3.0

資料：秋田労働局職業安定課  
(注) 臨時・季節を含む。

#### 有効求人倍率および事業主都合離職者数

区 分		2019年9月 10月 11月 12月			
有効求人倍率	常 一 般	1.37	1.40	1.39	1.46
	パートタイム	1.46	1.49	1.48	1.51
	全数 (季調済)	1.41	1.49	1.45	1.50
事業主都合離職者数		189	227	163	153
前年比		△12.9	6.6	△20.1	12.5

#### 12月の地域別雇用状況（パートを含む常用）

区 分	新規求人数		有効求人倍率	
	前年比		前月比	
県北	1,726	△2.7	1.72	0.06
県央	3,440	9.2	1.39	0.04
県南	2,195	△1.3	1.46	0.09
合計	7,361	3.0	1.48	0.06

(注) 臨時・季節を除く。